



MAGAZINE

記事を探す



TOP > 名優マガジン > 導入事例 >

麻酔科の挿管・抜管時吸引で、無駄のない廃棄とコスト削減を実現したサクションライナー QUEEN
の導入事例

導入事例

麻酔科の挿管・抜管時吸引で、無駄のない廃棄 とコスト削減を実現したサクションライナー Q UEENの導入事例

2026.09.07 #麻酔科 #サクションライナーQUEEN



150床規模の総合病院の手術室では、麻酔科による挿管・抜管時の吸引において少量タイプの吸引器を求めていました。1000CCのラインナップとコスト面のメリットを評価し、サクションライナー QUEENを採用した導入事例です。



導入先

150床規模 総合病院の手術室

使用場面

麻酔科による挿管・抜管時の吸引

目的

無駄のない廃棄とコスト削減

1. 事例のご紹介

2. 許容したこと・注意点

3. 使用製品

事例のご紹介

150床規模の総合病院の手術室では、麻酔科による挿管・抜管時の吸引にあたり、これまで3000CCの吸引器を使用していました。吸引量が少ない場面でも大容量のバッグを使い切らないまま廃棄する必要があり、無駄が生じていたことに加え、廃棄物がかさばることも課題でした。

製品選定にあたっては、麻酔科の吸引用途に適した少量タイプのバッグであることを重視しました。比較の結果、①1000CCのラインナップが用意されていたこと、②既存製品と比べてコストを抑えられることの2点が決め手となり、サクションライナー QUEENの採用に至りました。

サクションライナー QUEENは、麻酔科の吸引に適した1000CCサイズを選択できることで、使い切れないまま廃棄する無駄をなくしました。また、形状記憶タイプではない構造のため、使用後のごみをコンパクトにまとめられる点も評価されています。コストパフォーマンスも従来品より優れており、導入後は廃棄物の削減とコスト最適化につながっています。

許容したこと・注意点

- ・麻酔器への取り付けがやや不安定であったこと
- ・吸引音が従来品と比較してやや大きいこと

使用製品

製品名：サクションライナー QUEEN

区分：一般医療機器

届出番号：12B1X00003SCTNLN

製造販売業者：株式会社名優

採用品番：05TD0852（サクションライナー 1000mL）／05TD0845（キャニスター 1000mL&ウォールハンガー）

この事例での役割：麻酔科の挿管・抜管時吸引において、少量の吸引バッグとして使用

製品ページ：<https://meilleur.co.jp/product/suction-liner/>

よくある質問

Q なぜサクションライナーQUEENが採用されたのですか？

A. 麻酔科の吸引用途に適した1000CC
のラインナップがあること、従来品と
比べてコストを抑えられることが評価
されたためです。



Q 麻酔器への取り付けの不安定さは問題に
ならなかったのですか？

A. 1000CCサイズによる無駄な廃棄物削
減とコスト面のメリットを優先し、許容
されました。

Q 特に有効な場面はどのような場合で
すか？

A. 麻酔科による挿管・抜管時など、吸引
量が少量で済む場面において、無駄の
ない運用が可能です。

[＜ 前の記事](#)

[次の記事 ＞](#)

[一覧に戻る](#)



製品カタログ一覧



お問い合わせ